

◆京都大学未来フォーラム（第29回）
文化と文化財 ―文化を支える文化財の機能について―



グローバル化された現代社会に於いては、我々は諸外国の事情、情報に通じ、多数の国を通じる平均値的知識と能力を持つことを目指しがちである。しかし、本当の意味に於いて、我が国が国際社会に認められるには、日本人としてのアイデンティティーの確立や自国の文化を色鮮やかに育て、伝統に根付いた格の高い文化を他国にもPRすることが大切だと考える。例えばルーブル美術館には毎年何百万人もの世界各国の人々が訪れ、貴重な文化財を目にすることで、フランスという国の格を国際社会に知らしめているともいえるだろう。我が国も文化財を通して、自国の高度な精神性を世界に発信したいものである。そうした視点から、文化財の果たす役割と機能を考えてみたい。

開催日時	平成19年6月29日（金曜日） 18時15分～19時45分（開場17時30分）
場所	京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール
テーマ	文化と文化財 ―文化を支える文化財の機能について―
講師	独立行政法人 国立文化財機構 理事長・京都国立博物館長 佐々木 丞平 氏
参加資格	学生・教職員及び一般の方々
定員	500名（申込みによる先着順）
参加費	無料
申し込み	当ページ申込フォームまたは往復はがきにて下記までお申し込みください。 また、往復はがきによる申込みについては、「第29回未来フォーラム参加」と明記のうえ、住所、氏名、職業、連絡先を記入し、返信はがきには、必ず宛先を記入してください。
問い合わせ先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学企画部社会連携推進課未来フォーラム係 TEL 075-753-2233（月～金9：00～17：00） http://www.kyoto-u.ac.jp/top2/11-top.htm e-mail: 「kinen52」の後に「@mail.adm.kyoto-u.ac.jp」をつけて下さい ＊駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
主催	京都大学
後援	財団法人 京都大学教育研究振興財団

講師略歴

1965年3月 京都大学文学部卒業
1967年3月 京都大学大学院文学研究科修士課程修了
1970年3月 京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学
1970年4月 京都府教育委員会事務局技術職員
1972年4月 文化庁文化財保護部美術工芸課
1979年4月 文化庁文化財保護部美術工芸課文化財調査官
1981年4月 京都大学助教授文学部
1990年3月 京都大学文学博士

1991年3月 京都大学教授文学部
1993年10月 京都大学文学部哲学科長（1994年3月まで）
1996年4月 京都大学教授大学院文学研究科
1996年5月 大学設置・学校法人審議会専門委員（1997年3月まで）
2000年4月 京都大学附属図書館長（2005年3月まで）
2000年4月 京都大学評議員（2005年3月まで）
2000年11月 京都大学大学文書館長（2004年10月まで）
2005年4月 独立行政法人国立博物館京都国立博物館長（2007年3月まで）
2007年4月 独立行政法人国立文化財機構理事長
独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館長

（現在に至る）

受賞歴：
1997年国華賞
1999年日本学士院賞
2000年フンボルト賞